明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可 （日刊） 月曜及祭日の翌日休刊 明治四十二年十二月廿二日 （水曜日） 第二百九十四號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年 紀元二千五百六十九年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

寄書

當局の注意を促す

旭川

更らぬだに窮乏せる韓國民人は冬季を經過する毎に窮乏を強ひらるゝなり、寒氣の烈烈なるに伴ひ、薪炭費を嵩み暑中に比して食料費も又其の額の嵩むものあるを以て然り、自然と人爲との兩者に依りて然り、歳々年々細民の數を增し來るは此れが爲め也。需用の多き物は供給も又增加するは自然の元則なり、然るに唯り寒氣肌に砭する韓國にありては薪炭の需用の他に倍するは必然の勢なるに、供給は年々其の額を減じ、價格又之れに伴ふて騰貴するを見るなり、之れ反自然元則の現象と云ふべし、爲政者の意を注がざるべからざる所なりとす。

食料費の如きは暑寒何れに處るも同額にして可なるべきを思ふ者あらば幷は誤れりと云はざる可らず、彼の溫帶の人類は菜食にて事足るも寒帶に住る民の脂肪に富む肉類を需用するに徴して生活の程度難易を卜するに難からざらん也。況んや寒威地に徹し、夜氣凝つて土砂を鐵の如くにし、江水氷結して物資運輸の途杜絶し、漁撈の便を徼ふし、牧草は溫突に焚かれ、馬牛放牧の利を害ひ、百蟲蟄して出でずして家鷄の放養又叢に任せず、土工、建築は休止され、物資の集散滯れにして運搬輸送の勞役を減ずるものあるに於てをや。冬季韓民の窮乏は饒なりしに貯へず、餘れるに節せざりし罪のみと謂ひ得べからざる所以を認め得らるべきなり、又翻んや饒にして豊なりし時なき者多きに於てをや、爲政者の大に省慮すべき問題にあらざるなきか。

權利を與ふるに先んじて食を與へよ、義務を課する前に業を與へよ、產業は論達や訓令やで勃興するものに非ざるを知らざる可らず、働けば豊かに、勞すれば饒なるを得るは、既に今日に於ては愚鈍彼れ等と雖ども之れを知る、働けよと言ふも勞せよと言ふも、共に言ふのみにして其の道を授けず、當局者は其の言の非にして策の得たる所にあらざるを悟らずや。

近頃に及んで又水道會社が汲水夫の職を襲へるあり、韓國二千萬衆の數より觀て事大ならずと雖ども又纔かに一の社會問題たらずとせず、然るに其の局に衝る者は一も此等の點に省慮せざるは何ぞや、斯くの如き事にして起るこそ頻々たらば國を擧げて狐賊鼠盜たらん也。產業政策聲徒らに大にして、實は實に此れに反す、之れに比すれば合邦問題の如きは省みるに足らざるものと知れ（十八日稿）

雜報

韓國氣候概況（隆熙三年十一月中）

●氣壓● 本月の氣壓は黄海沿岸に高く日本海岸に低く殊に咸鏡北端に最低を占め全國を通じて其差四耗三を示せり風向は北乃至西方を占め氣溫は頓に低下し木浦の二十四度弱を最高とし龍岩浦の氷點下十二度弱を最低とす而して南岸地方と雖も月末に於て皆氷點下に降れり●降水量●は釜山に最も多く之より北進するに從て減少すと雖も平安南道は稍多きを示せり●蒸發量●は概して沿岸地方に多く八十耗を超過し只平安南道及び內陸に於て稍少量を示せり尚是等を既往（五箇年と云ふ以下同じ）に比すれば●氣壓●は一般に三耗弱の低下にして氣溫は二度弱の高度を示し降水量は仁川、元山、城津地方に過少して元山は三十七耗一に達し南岸及極北西部に過多にして釜山は五十五耗五に及べり●蒸發量●は南東部及極北西部に過少なれども其他は過多にして城津は二十七耗三に及べり更に項を分ちて大要を叙すれば次の如し

●氣壓● 平均氣壓は西岸の七百六十六耗三より城津に於ける七百六十二耗○の間にありて前月に比すれば一耗內外の上昇ありしも城津のみは一耗の下降を呈せり

●氣溫● 平均氣溫は釜山の十度五より龍岩浦の二度五の間にありて最高極は木浦の二十三度七（三日）最低極は龍岩浦の氷點下十一度六（三十日）にして前月に比すれば平均に於て七度內外の下降を見るに至れり而して較差の最も大なりしは元山にして十九度四に達せり

●降水量● 本月に於ける雨量の配布は釜山の六十九耗九より城津に於ける十三耗二の間にありて前月に比すれば龍岩浦に於て三耗の多量なるの外各地共過少にした元山の其量百一耗に及べり

●蒸發量● 本月中最も多かりしは木浦に於ける八十八耗五にして之に次ぐは仁川の八十八耗三なり最も少なかりしは龍岩浦の五十五耗六にして前月に比すれば各地共減少し元山の十五耗四より釜山の六十耗九の間に於ける過少也き

●風● 本月中の最多風向は各地共北乃至西を占め平均速度は仁川の八米二より大邱の二米の間にありて風力の最も強かりしは木浦に於ける三十四米二（廿九日）にして仁川の二十八米四（二十九日）之に次げり而して暴風日數は仁川の二十三日を最とし龍岩浦の十八日之に次ぎ城津、釜山、木浦等には十四日內陸地方及元山は一日乃至四日なりし前月に比すれば元山の三日の減少ある外其他は一日乃至九日の增加にして既往に比すれば元山、城津に各一日釜山、仁川、龍岩浦に三日乃至六日の過多なれども木浦に於ては四日の過少を見たり

●天氣● 降水日數は龍岩浦の四日より木浦に於ける十日の間にありて前月に比すれば京城、大邱、釜山に一日乃至四日の過多なれども其他は仁川に二日北部地方に三日乃至百日の過少なりき快晴日數は京城、木浦の五日より釜山十七日の間にありて前月に比すれば元山は前月に同じく龍岩浦に一日の過少を示し其他は二日乃至七日の過多なりき更に是等を既往に比すれば降水日數は仁川木浦は平年に等しきも北部の各地は一日以上の過少にして釜山のみは五日の過多なりき快晴日數は城津龍岩浦に一日乃至二日過少なりしも之より南進するに從ひ遞加し二日乃至五日の過多を見たり尚本月中電雷は中部の各地に各一日あり外其他は皆無にして霧は釜山木浦の二日を除く外各地共五日以上にして京城の廿二日最も多かりし尚本月は各地に降雪を見るに至り元山、京城、大邱、釜山は各一日龍岩浦の五日最も多かりし

●低氣壓● 本月中主要なる低氣壓は二十八日午前一時北蒙古より南東に進行し同午後一時三十分天津の東方を侵し二十九日午前一時三十分には龍岩浦の北西方に來れり當時京仁地方は劇甚の雷雨を起し北東部に降雨を生せり而して同日午前五時三十分中心は既に日本海に出て城津の南に在て益々深厚となり遂に午後一時三十分同所に最低氣壓七百三十八耗三を示して東北東に馳去せり之が爲め各地に強烈風を吹續せしめて長時間に亘り就中風速度の大なりしは木浦の北西三十四米にして仁川釜山之に次ぎ雨は元山最も多量なりしも尚ほ十耗に及ばざりし（觀測所報）

平壤通信（二十日着 社）

▲牛皮相場と近況 年末に於ける牛皮の相場を聞くに小皮三十一圓、中皮二十六圓、大皮二十四圓の割にして日本內地も幾分下落せる氣配あれど滊車積として逐附するには左程不引合にも非ざるべし去れど昨今結氷の爲め出廻なく且つ結氷以前に於て殆んど品出盡せる傾きあるに依り昨今皆無にして各商人は買込に焦慮すれど取引なき有樣なり

▲上旬の市外電話 平壤郵便本局に於ける十二月一日より十五日までの市外電話數は鎭南浦には三百二十五通話、呼出三度、京城には三十六通話、呼出一度、仁川には一通話、呼出一度、龍山には四通話、呼出はなかりしとのことなり（平壤通信員）

俳句

△歳末五句 千春

月花の煤も拂ふや古硯
木ばさみの音も師走の一つかな
一重とはこゝろの寒し冬の梅
小判踏む猫叱りけり餅莚
切るな〳〵夫れも花の木春近し

日本銘刀傳

第三席 邑井一講演

やがて行光は仕事場に往かんと、障子をガラリ開けると 行「オヤお前、其處に御出でか、もう何時か知ら…… 秋「私は存じません 行「何んだか大變怒つて居るな、大方蓄だらう、私は食事をして仕事場へ往くから、膳の支度をして呉んな 秋「御勝手に召上りませ 行「お前大層怒つて居るな 秋「怒りもすらア笑かしやアがる 行「是れは怪しからん 秋「一寸此處へ御出なさい 行「何だ 秋「貴方は私に匿して飛んだことをなさる 行「もうお前に聽かれたからは仕方がない、然しもう爭つた所で追付かない 秋「貴方は誰の御蔭で天子樣の御佩刀を鍛つやうになりました、誰の御蔭で相模國の宗匠、天子樣の御番鍛冶と出世しました、玄關へ菊桐の高張を立てるやうになつたのは、誰の爲めでございます 行「イヤ夫れを言はれては面目ない、舅の恩は決して忘れませぬ、けれどもつい旅の出來心でフラ〳〵とした許りで飛んだことになつた、是れから愼むから、何うぞ許して呉んなさいよ 秋「エヽ口惜しい殺して呉んなさい、私の親が貴方を世話をしたことは並大低ではありません、夫れを思へば、其樣な眞似が出來るものぢやありませない、一層殺して下さいエヽ胸が惡い」と行光にむしやぶり付く 行「まア〳〵氣を鎭めなさい、其樣に怒つても今更仕方がない、是れから愼しむから、勘辨して呉んなさい」と飯も食はずに其儘仕事場へ往つてしまふ、其日は夫れで濟んだものゝ、お秋は夫れからと云ふものは、行光の居る時には少し五郎を大事にするが、行光が留守だと箸の上下に叱かる、呼んで返事が遲いと云つては打擲する、五郎は又少しも逆はず少さくなつて折檻を受ける、親父が歸つて來ても御留守にお母さんが私を打ちましたと告口をしない、一口も言はないので、行光は何も知らない、夫れで家が治まつて居る斯う云ふ工合に長く續いて往けば宜いのだが、なか〳〵さうは往かない、其內に五郎は新太郎の弟と云ふことにして育てゝる、所が或時お秋が病氣に罹つた、殊の外重い、熱があつて囈語など云ふ、もう彼是半月餘になれども少しも藥の効驗が見ゑない、行光も大層心配して居ます、五郎も少さい胸を痛めて居る、スルと或晩のこと、二人の職人が夜半に目を覺ますとザー〳〵と水を浴びる音が聞ゆる 甲「オイ兄弟 乙「何だ 甲「水の音がするぢやあねゑか、此の寒いのに眞夜半頃何をするのだらう 乙「何んだらうな、正可今時分臺所へ水を汲入れるのでもあるめゑ、何しろ物騷だから見て來やう 乙「夫れが宜からう」と二人は床を出て雨戸を引明けて朧夜に透かして見ると、十三歳の五郎が寒水を頭の上からザー〳〵と浴びて居る、職人は小聲にて 甲「ヤア五郎さんだ〳〵 乙「何だつて彼樣眞似をして居るのだらう 甲「何か言つて居るぜ、默つて聞け〳〵」五郎は顫聲を張上げて兩手を合はせ 五「南無、高宮稲荷大明神樣、御利益を以て母樣の御病氣の一日も早く御全快遊ばすやう……私の一命を縮めましても厭ひません、南無高宮の稲荷大明神樣、母上の御病氣の一日も早く御快氣遊ばすやう願上げます」と言つては水をザー〳〵と浴びる孝子の一念 甲「何うだい、聽いたか……聽いたかい、涙で眼が見ゑねゑ 乙「聽いたよ、兄貴胸が痛くなつて來た 甲「さあ風を習いては往かねゑから床の中へ這入らう 乙「五郎さんのことを思やお床の中などへ這入られねゑわ、交際に茲に立つて居やうか 甲「馬鹿ア言へ、風邪でも引いちやア詰らねゑ、五郎さんの祈念の邪魔をしてもならねゑから歸らう 乙「夫れもさうだ」と兩人は床へ潜込む 甲「ア、感心なものだ、彼の位孝道盡しても蹴られ擲かれ毆たれて音を聞てせへ身の毛の彌立つ寒の夜水を續けて浴びて、彼の鬼婆アの病氣全快を祈ると云ふは感心だなア 乙「さうよ俺達なら祈殺す方だ…… 丙「已れも其方だ……夫れだから十三で己達より腕前が勝れて出來るのも孝心の徳だらうよ 甲「かうしてだん〳〵甲子だか知らねへが、己達は己待が惡いてねのはどうだ 丙「惡い洒落だグー〳〵」と流寢入りに寢て仕舞つた。



東京電報

▲對韓同志會の一派　中村彌六一派の對韓同志會は近々活動せんと準備中なり（二十日）

▲重役辭表の保留　昨夜米穀取引所總會に於て重役一同の提出したる辭表は雨宮敬次郎氏の手に保留せられたり（二十一日）

▲渡米團の歡迎會　昨夜銀行集會所にて各銀行家の渡米商業團一行歡迎會開催豊川良平氏（三菱）歡迎辭を述べ澁澤男答辭を爲し頗る盛會なりき（同上）

▲大阪市と內務省　大阪市政の紊亂に關し內務當局は一般市政に重大なる影響を與ふるものと認め高嶋知事以下に處分を行ふの意思あり目下調查中なり（同上）

▲時計商の大搜索　警視廳の掏摸檢擧事件は其後益々搜索區域擴大され市內時計商の不正行爲あるものを認め市內四百余ヶ所の時計商に就て家宅搜索を行れ尙は今後益々擴大せられんとする模樣あり時計商等は大恐慌を來せり（同上）

▲統監府と豫備金　四十二年度第二豫備金中より統監府に關する臨時機密費二萬圓、司法監獄費五十七万二千三百九十九圓を支出の件決定せられたり（同上）

歐州電報

▲偵察官等の勳章　英國皇帝陛下は勳功ある偵察官以下に下賜する爲キングスポリス勳章を制定せられたり（二十日着）

▲白耳義の新皇帝　白耳義新皇帝陛下はアルバート一世と稱せらる（二十一日）

▲葡內閣の總辭職　葡萄牙國內閣は總辭職を爲せり（同上）

▲英國の政爭劇烈　英國內閣員八名上院議員十一名は政治運動に參加し地方局長バーン氏はタッタ市に於て上院の攻擊を加へ群衆は同氏を肩に乘せて歡呼したり（同上）

▲クロ卿と自由貿易　クローマー卿はセルフィルドに於て演說して曰く自由貿易論は帝國の分裂を防がんが爲め統一黨を支持すべき旨を切言せり（同上）

紐育電報

▲領事召還と貝相　奉天駐在米國領事ラグド氏は日本攻擊の論文を米國新聞紙に掲載し物議の種を作りたるを以て日米關係を有利ならしむるを認むるを得ずとして召喚を命せられたる者なりと（廿一日着）

雜報

政府補助の蠶業

韓國政府が今日までに蠶業奬勵の爲め斯業に關する傳習所、講習所又は共同飼育所を設立又は補助するもの現在傳習所及び講習所を合して十五箇所にして共同飼育所は八箇所あり即ち其名稱及び所在地左の如し

△大韓婦人會養蠶講習所（京畿龍山）△大韓啓農園蠶業傳習所（京畿富平郡）△恩賜紀念全北蠶業傳習所（全北全州）△光州婦人蠶業傳習所（全南、光州）△大邱蠶業傳習所（慶北大邱）△咸昌蠶業傳習所（慶北、咸昌）△星州蠶業傳習所（慶北、星州）△安東蠶業傳習所（慶北、安東）△慶州蠶業傳習所（慶北、慶州）△三浪津蠶業傳習所（慶南、密陽）△新幕蠶業傳習所（黃海、新幕）△江西蠶業傳習所（平南、江西）△春川蠶業傳習所（江原、春州）△韓國中央農會鎭南浦支會蠶業講習所（平南、鎭南浦）△水下面稚蠶共同飼育所（慶北、咸昌郡水下面）△上西面稚蠶共同飼育所（同西面）△北村面稚蠶共同飼育所（同大邱北村西）△上拔面稚蠶共同飼育所（慶北、漆谷郡上拔面）△新邑面稚蠶共同飼育所（同龍宮郡新邑面）△身東面稚蠶共同飼育所（同聞慶郡身東面）△靈岩稚蠶共同飼育所（全南靈岩郡靈岩邑）△鼻岩坊共同飼育組合（平南江西郡鼻岩坊）△韓國中央農會鎭南浦支會稚蠶試驗場（黃海、殷栗郡）

韓國金庫の設備

光武九年七月在韓國第一銀行支店をして金庫事務を執行せしめし以來各地に支金庫を設置せしも尙ほ國庫金出納上不充分なるを以て同年九月統監府通信管理局と協定し國庫の處理を委托し支金庫の外別に國庫金取扱品を增設せり而して隆熙二年末に於ける現在金庫は二十六箇所にして國庫金の取扱をなす郵便局所の數は百五十箇所なり今最近三ヶ年に於ける國庫出納成績は左の如し但し單位は總べて圓なりとす

△國庫の出納成績表

		光武十年	隆熙元年
歲入	金庫	八、〇〇五、三三九	七、四〇三、一三三
同	郵便官署	六五、三三三	六、一〇八、四七〇
同	上	隆熙二年	一六、一三七、八九二　五、七三六、〇三八
歲出	金庫	八、一三八、六六五	三、四四三、一四一
同	郵便官署	一一、七六五	一、五四九、六六九
同	上	隆熙二年	一八、〇七五、一六六　二、二九九、七六三

暴徒と出穀妨害

京義線汗浦驛に於ける穀類集散の狀況は昨年以來盛況を呈し前途甚だ有望なりしに拘はらず本年十一月以來大豆新穀出廻時期に際し少時出穀盛況を呈せしも忽ちにして減退し殆んど出穀杜絶の狀況に陷りたり蓋し其原因は同驛附近なる石橋面、筆洞面、大元院以北、暴徒の良民の出穀を妨害し居る故なりとは韓人商人の頻りに唱ふる所なり是より先き暴徒は本年六七兩月に亙り汗浦の各出穀問屋に向け出金を迫りたるも斥けたる由にて之れが爲め目下の出穀期を待ちて暴徒は各所に出沒して出穀の妨害をなしつゝあるものにして穀物賣出韓商人が途中に於て金品を强奪せられたること再三に止まらず之れを以て平山憲兵分遣所へ警戒方を申請したるも駐屯憲兵少數の爲め思ふやうの行動をなす能はざる由にて同地三共穀物組合より汗浦驛長を經て平壤憲兵分隊へ對し討伐方を十九日依賴し來れりと

屠獸法の實施難

來春早々屠獸法の實施を見る事なるが同規程中牛馬豚犬の屠殺は必らず屠場に於て之を行ひ警官又は獸醫の立會を要する旨明記しありこは取締上尤も慄ばしき事ながら韓內地にあつては今尙警察力極めて稀薄にして現に屠獸業者所在地が駐在所より二十餘里を隔てたる地點にあるが如き決して珍らしからずさらでだに民籍調查等の爲め餘暇に乏しき警官の立會は事實に於て不可能にして國庫より派遣する技師も一道に對し僅々一名に過ぎず取締上困難を感ずる事尠少に止まらざれば當局者に於ても止むなく密殺脫稅等を默認しつゝ漸次整齊を期する方針なりと

刺客嫌疑者の捕縛

東京在留中の韓國留學生中今回の合邦問題に激し不穩の行動ある爲め其筋に於ては嚴重注視し居りしが果然東京高等商業學校在學の平安北道宣川郡金益三（二七）平安北道鐵川郡金翼宣（二二）の二名一進會長李容九を暗殺せんと企て歸韓せりとの情報に接したるより直ちに沿線各方面に警戒線を張り一昨二十日午後九時の釜列車の永登浦驛に入着するを待ち刺客嫌疑者として捕縛せり

內示豫算と韓國

十八日首相邸豫算內示會に於ける統監府所屬の新要求は司法監裁判所監獄新設に伴ふ經費として三百三十三萬〇九百六十圓及京城民團立中學校新營費十五萬圓を二箇年繼續事業とし四十三年度は六万五千圓を計上し之に伴ふ經費三万七千七百六十四圓を要求せり其他北韓貿易調查費一万圓あり

兇漢下調の終了

兇漢安重根以下に對する下調は愈々去る十五日を以て終了したるが正式の豫審に掛けて明年一月早々旅順高等法院の公判に附せらるゝことに決定せりと

●茨城縣人會の模樣　忘年會を兼ねたる茨城縣人會は去る十八日擲翠樓に於て開催せられ當番幹事遠山熙氏開會の趣旨を述べ續て小宮三保松氏の韓國美術品と制度の關係、岸繁太郎氏の明の舜水と茨城縣人と亞大陸との關係に就ての談話あり了つて酒間歡を盡し互に聯交を暖めたり當夜の出席者は在京龍仁重なる同縣人四十餘名なりしと云ふ

●俞吉濬の四面楚歌　俞吉濬は現に漢城府民會長帝國實業會長韓國農務會長等の名譽を有しながら合邦問題湧起以來李完用の走狗となり此位地を濫ざし頻りに政爭渦中に狂奔し其行動頗る不穩なるを慨し一昨二十日農務會總務鄭奎煥同評議員金顯水の二名は同人を其邸宅に訪ひ會務を攪亂し民心の動搖を釀もさしめたる不都合を詰責し若し肯んせざるに於ては直ちに辭職せしむ可く嚴談せりと（電通）

●統監府と新年拜賀　統監府に於ける來る四十三年の各官吏の賀正順次は左の如し
（一）在京親勅任官（日本）は午前十時統監官邸に參集の事
（二）統監府高等官一同
（二）統監府所屬官署高等官（在京龍）三等以下並に韓國傭聘中の日本高等官三等以下各廳局又は各府部より總代一名午前十時統監府及所屬官署（在京龍判任官）各總代一名午前十時統監官邸に參集の事

●司法官會議の結果　去る十五日より開會せし司法官會議は廿日結了したるが同會に於ける協議事項は韓國に統監府裁判所開廳の以前に於て發布されたる諸勅令の解釋を統一して立法の趣旨を明にせしこと並に事務の取扱に關する打合せ其の他廳舍及官舍の要求等に關することにて要は中央と地方との連絡に關するものなりしと

●開鑿と浚渫の請願　仁川稅關埋立地西南より穀物斗量場前灘海岸の水道開鑿の件に關し穀物協會々頭奧田貞二郎氏外十名及び漢江流域浚渫に關する請願書は慶田利吉外八名により仁川商業會議所を經て兩三日中に其筋に提出せらるべしと云ふ

●臨時大臣會議召集　來年度韓國歲入歲出總豫算は目下參與官會議にて查定審議中なるが今廿二日審議を爲したる上大臣會議に附議する筈なるが年度も切迫したるを以て今週中臨時大臣會議を召集審議決定する筈

●稅關吏特別任用令　昨二十一日の官報を以て稅關監吏特別任用令を發布せり其要點は稅關監吏は試驗に合格したるものを任用し稅關監吏は就職後二箇年間自己の便宜を以て辭職するを得ざるものとすとあり

●學生等の反對運動　定州公立普通學校及私立維新學校の生徒等は二十日學校に於て校長某より日韓合邦反對の慷慨的演說を聞き激昂の末不穩の行動に及ばんとする形跡ありたるを以て目下警戒中なりとの報あり

●度支部の分課規程　度支部分課規程中第一課を計畫、審理、經理及び鹽、水產等財源調查涵養に關する事項、第二課を酒類の財源調查及び涵養に關する事項を改正せり

●仁川會議所役員會　仁川商業會議所は昨二十一日午後二時より外米輸入稅引上案反對運動員東上に關する件及鐵道敷設請願委員東上に關する件に付き役員會を開きたりと

●築港急設の理由書　仁川經濟研究會は今回仁川築港急設理由書と題する印刷本を刊行し各地の商業會議所其他の團體に之れを送達して輿論の喚起に努むる筈なりと云ふ

●結氷と浮標の撤去　韓國西岸漢江航路に便する爲め設置せる標識の內浮標は冬季同江結氷の爲め船舶の航行不可能となりたるを以て十二月下旬之れを撤去すると云ふ

●白耳義君主追悼會　京城駐箚白耳義總領事アー、バン、ビルヴート氏は先般崩御せられたるレオポルト第二世陛下の追悼式を廿二日（水曜）午前十一時佛國教會堂に於て執行

●定例參與官會議　昨二十一日は參與官會議の定例日なりしを以て午前十一時より各參與官統監府に參集して會議を開きたりと云ふ

●諸官公衙の御用納　統監府、韓國政府各部京城民團役所其他の各官公衙は例年の通り來る二十八日を以て本年の御用納となす由なり

●地方諸建物の調查　各地方に存在せる諸建物に就ては各主管所に於て夫々調查し充分整理する筈

●三相軍司令官訪問　廿日李總理、趙農相、李學相は相携へて大久保軍司令官を其官邸に訪問せり

●警備電話の開通數　左記數箇所に於る警備電話開通したり
開城長端間　長端高浪津間
積城間　麻田漣川間　高浪津

記者團の臨時大會

京城記者團は合邦問題に對する態度を明かにし時局に關して重要なる協議をなす爲め昨二十一日午後八時より日本人商業會議所に臨時大會を開催したり

●石塚夫人の招待　石塚長官事務取扱夫人は一昨二十日午後二時愛國婦人會の重なる役員を自邸に招きて懇話會を催したるが當日小宮、兒玉、三浦、輕、外波、俵、若林、井上、村上、佐々木、山口、中村、熊谷、頭本、國分、小松、齋家、本多、三宅、菱田、李王卿等の各夫人出席先づ石塚夫人より一場の挨拶あり今回本部長事務取扱囑托を受けたるに就ては各位の援助に依りて及ばずながら會務の發展に努むべく且つ今後本部事業上に關し注意すべき點は遠慮なく注意せられ度旨懇囑し次に兒玉相談役より年度末會計事務の報告等あり夫れより鶴崎某の筑前琵琶の餘興あり終て茶菓等の饗應あり散會は午後四時半なりし

●在京明大校友會　在京明治大學校友忘年會は去る十九日午後五時より梅之家に於て開會したるが來會者は小宮次官、水越韓銀理事、寺田、秋葉、塚原、山口の各判檢事、鄉津、勅使河原、西の各地方裁判所長並に檢事正、高橋木尾の兩辯護士等三十有餘名にして高橋幹事の會務報告ありて宴に移り義太夫謠曲等の餘興あり各自歡を盡して散會せしは午後十一時頃なりしと

●兩本部の晚餐會　日本赤十字社韓國本部愛國婦人會同本部にては來る二十五日午後五時三十分より官民有志を擲翠樓に招待し晚餐會を催す筈なりと

●排日新聞の押收　布哇にて發行せる清韓國報三十七號より三十九號まで又桑港にて刊行せる清韓民報百六十號はいづれも押收せられたりと云ふ

●伊國領事追弔會　昨廿一日午前十一時より佛國教會堂に於て故伊國總領事カザチ氏の追弔會を執行し統監府よりは石塚總務長官事務取扱及參詣せりと

●東拓會社の招宴　東拓會社宇佐川總裁は來る廿八日午後五時半より重なる官民を花月樓に招待し盛宴を催すと

●內部の昇級發表　內部官吏本年度昇級賞與は調查終了次第近々發表の筈

韓米の前途觀測

本國に於ける米作の豐穰は一時韓國米の前途をして其捌け口に於て頗る悲觀されたりしも事實は稍かく悲慘なるものにあらず前途頗る有望なり今某當事者の精查する處によれば近年滿洲地方に日本人の移住增加に伴ひ著しく韓米の需要を喚起し逐年輸出の增加を見るに至れり則ち大連開港以來韓米の同港に輸入されたるもの九十七萬七千余圓の巨額を算するに見ても如何に同方面に於ける韓米の需用擴大されつゝあるやをトするに足らん尙ほ一面近時に至り和蘭に直輸出さるゝに至りしが他坂神地方より輸入されたる韓米が日本米と同一包裝の下にビクトリヤ、タコマ、バンクバー、ポートサイト、ロントン、メルボルン、アントワープ等の地方に再輸出さるゝに至り今後益々同形式の下に以上各市場に歡迎さるべきは無論の事にして韓米の前途は洋々として多望なりといふべし今神戶港を仲繼として一昨年來諸外國に輸出されたる額表は左の如くにして如何に急劇なる增加の一斑を知るに足らん

輸出先	四十年度	四十一年同	四十二年上半同
加奈太	一五、〇三一	六六、一一七	三六、七七四
濠洲	七、三四〇	九、一六七	一、六六八
獨乙	四、三七一	……	二、二四〇
布哇	三八六	……	二、三五一
英國	二、二〇三	三、七四二	……
香港	……	……	五、八二四
米國	一、三八〇	一、七五五	……
白耳義	……	四四七	二、四二四
佛國	……	……	四、〇〇〇
合計	三〇、七三三	八一、二六八	六一九、五四〇

●平北地方の概況談　觀察道所在地たる義州は商業上若くは政治上さして重要なる地位に非ざるを以て近き將來に於て新舊義州の連絡を完全ならしめ大々的發展を試むべし▲汽車沿道の十郡及び鴨綠江沿岸の六七郡は船車の便あるも其他は交通頗る不便にして韓馬牛に乘じ若くは人肩によりて辛うじて用を便ずる程なれば交通機關の設備は尤も喫緊事に屬すれど完整を見るは容易の業に非ざるべく前途尙遼遠の感あり▲平北の教育界に一種の危險分子を包含し隨所に排日的氣勢を煽りつゝあるは的確なる事實にして一朝一夕に之等の弊風を芟除する事能はざるべきも可成的日人教師を多數に派遣し親日的教育を施すを尤も機宜に適せる處置と云ふべし▲越境民には去來常なき支那勞働者千數百を算じ雜貨食料品等の販賣は清人の手に獨占せられ作蠶の利益も又清人の爲めに壟斷されつゝあり▲基督教徒はその數優に三萬五千餘を算すれどいづれも外人宣教師の恩惠を貪らんとする依賴心より發芽せる僞信徒のみにて眞に聖父の愛に金剛不惑の信を抱けるものは絕無の姿なり▲基教に比し天道教徒はその數遙かに劣ると雖も下層階級の多數は却つて天道教に歸依悅服せるものゝ如し▲產業等も概して振はず穀類の收穫は忠北よりも少なく大豆及び雜穀はやゝ忠北のそれよりも增收あり▲何地在留日人は總數にて千七百餘を算じ續々居留民を增加しつゝありと歸客某は語れり

●濟州島の產業奬勵　濟州島私立義信學校は廿二日公立濟州農林學校として學部大臣の認可を受けしが同島は農業林業漁業等各種の實業盛んにして殊に特產たる柑橘は今も尙宮中に獻納せられ市場にも散見する所なれど近來の培養方法不完全なる爲め收穫を減じ行く傾向を生じたるに付是等も副業の主なるものにして其培養の道を講じ尙同島に於る牛馬は良種なるを以て是が飼養方をも奬勵す可しと

●隈本書記官歸任　官立學校職員撰擇及び諸學校必要器具購入等の要務を帶びて東上し文部當局者と諸般の打合せをなしたる學部第一課長隈本書記官は昨二十一日夜歸任したりと云ふ

●檢事正等の歸任　司法官會議に列席の爲め入京せし平壤地方裁判所檢事正秦重次郎、公州地方裁判所檢事正岩田孝慈の兩氏は二十日出發任地へ向ふ

●向田部長の入京　開城警察署新築落成式に參列したる向田京畿道警察部長は歸途一昨二十日入京し昨二十一日內部にて諸般の事務打合せをなせり

●大垣丈夫氏歸國　大韓協會顧問の同氏は突如歸國に決し今廿二日出發

●岡田辯護士歸京　新義州用にて安東縣へ出張中の岡田辯護士は廿日夜歸京

●安武辯護士入京　熊本市の辯護士安武千代吉氏は二十日入京浦尾旅館へ

●亭彥一氏の下仁　水原財務所主事の同氏は二十日出發して下仁したりと

●大庭民長の歸任　滯京中なりし平壤民團所民長大庭貫一氏は二十日歸任

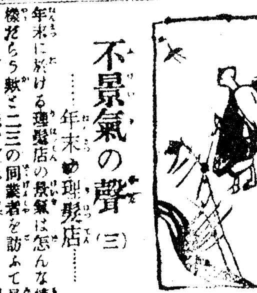
●神田所長の歸任　天安憲兵分遣所長憲兵大尉神田長平氏は二十日歸任す

▲治外法權▼

ベルギー皇帝陛下が御崩御になつた、記者は謹みて哀悼の意を表する、トコロデ茲に一トつ面白き話は故伊藤公と故ベ皇帝とが三四の重なる點に於て良く似て居た事である▲第一の點は公も帝も立法行政に趣味を有し且つ精通して居られたことである、第二の點は公、帝ともに長壽の福を受け從て生前に於て時代の爲したる殆んど總ての功業を自家の名の下に收得したことである▲第三の點は公帝ともに晚年に於て前者は韓國の統監として後者はコンゴー自由國の主權者として何れも二十世の初頭に於ける世界の二大困難事業に關係したことである、只相違の點はべ帝は兎にも角にも其生前に於てコンゴーをベルギー帝國に合併したのに伊藤公は遂に結末を附けずして職を去つた事である▲第四の點は甚だ申惡いことだが公帝共に死後に於て嫡出以外に子供のあつたことが明かとなつたことである、文吉君已に男爵となつた以上オウハム男爵未亡人所出の二子も何とかならずばなるまい▲斯く擧げ來れば伊公とべ帝は似た點ばかりを有した樣だが其性格に於ては全然相違したものがあつたのである、見よ伊公は終生金錢に淡泊なりしもべ帝は中々金錢を重んじ其一生世界屈指の金滿家となられたが確かな證據であるのである▲合邦で失敗した一進會は終りに絞つた智慧の上澄で會員の歸化問題を出したソーだ、之もヤッパリ出來ない相談の一トツだ、何とかモチット氣の利いた案はないかね▲合邦策士君コ、一番齋戒沐浴新案考出に大に勉むべしである、尤も東京へ歸つて出來合の分を仕入れて來るが早いかも知れぬ

●仁川築港問題打合　仁川民長岩…及び加築商業會議所…

●生埋八夫皆無事　去十日富山…



不景氣の聲(三)

……年末の理髮店……

年末に於ける理髮店の景氣は怎んな模樣だらう歟と二三の同業者を訪ふて見た。京城に理髮同業者が總て七十二軒ある相な。一寸素人の觀察では世間が如何に不景氣の風に吹き荒らされても一ヶ月一二回位の散髮料にまでは影響はせまいと思ふが今現業者に就て親しく聽く所に據ればなか〳〵そんなものではなく本年の不景氣は近年に其例なく昨今年末に際して殊に酷しいとの事だ。昨年は**同業者が七十五軒**ありしに本年になつて三軒廢業し且つ京城の人口は逐年激增して來るに反して益々不景氣になるとは聊か**奇現象**と言はねばならぬ。強いて其原因を詮索すれば近來世間の不景氣なるに鑑みて邦人中、中流以下の人で比較的衛生思想に乏しき者は韓人理髮屋に行くものが尠くない。京城も日本人居住者の多い處はそうでもないが少し場末になれば。韓人理髮屋がなか〳〵繁昌してゐるとのとだ。概して理髮店の收入の最も多い季は三月頃から九月頃まで。十月から十一月頃になれば氣候の關係から理髮店は一時寂寥を極むるの傾向があるが。極月は新春を迎ゆるので總じて斬髮するので相應に繁忙を呈するものだ。京城も**四五年前**は一ヶ月**三百圓位**の收入のある店は珍らしくなかつたが本年は頗る不景氣になつて怎うにも怎うにも遣り切れぬと悲痛だら〳〵であつた。京城で理髮業者で稍々成功してゐる者は本町六丁目**樽屋**、本町一丁目**鳥井**、南山町三丁目**荒井**、明治町一丁目**謙田**位のもので、これとても二千圓足らずの動産の所有者と云ふに過ぎぬから其他は推して知ることが出來る。茲に戶數が三百あるとすれば一戶に付男子が平均二人と見て二百人あれば一人の理髮屋があつて生活は樂に出來る譯だが此理論から打算すれば京城で七十二軒の理髮屋で不景氣の筈はない樣だが事實は大の不景氣で本町通りの**高等理髮屋**で一ヶ月百五十圓位の收入で家賃や職人の給料(十二圓乃至十五圓)其他詳細に計算すると到底收支償はぬと語つてゐた。去る十五日南山町の事務所で同業者の技術研究會を開催したが其節目下の散髮料は三十八年十一月理髮組合で認可になつたので少し**高過**ぎるし殊に家賃の高き今日到底實行不可能だとの說が出て遂に**否決**せられた相な。

滑稽なる巡査殺し

▲奇怪なる檢事の論告
▲警察官今后の働如何

本年一月三十一日西小門外に於て警視廳刑事山本雅夫氏を殺害したる數名の兇漢あり、爾來警視廳は殆んど全力を擧げて搜査に腐心し記者も又當時直接間接之れが檢擧を容易ならしめんと努めしが幸ひにも一月を出でずして當地米倉町に居住せる奧谷悅次、三浦周吉津城大八の三名を嫌疑者として檢擧し南部署及び銅峴分署にて殆ど一箇月間該嫌疑者に付き取調べの結果彼等は遂に包み切れずして**自白**に及びしかば直に**京城理事廳の豫審**に附し豫審判事又**有罪の決定**を與へ之れを仁川理事廳の公判に附し**仁川理事廳檢事**又之れを有罪と認め**數回の公判**を開廷せし結果端なくも太平町八重咲の酌婦まさの僞證事件起り公判は**延期**に延期を**重**ねて司法權の委任となり遂に**最後**の公判は仁川地方裁判所支部に移り檢事も判事も該事件とは何等關係なき**お初の裁判**なりしが結果は意外にも被告は**無罪**を**宣言**されたるのみならず立會檢事は被告の無罪を主張するのみか當局警察官を**散々**に**罵倒**して自ら**快**とせし物の如くなりしと、記者は過去殆ど十年間筆を三面紙に染め其間稀々なる大事件にも遭遇せしが檢事が**部下**の**司法官**を**法廷**に**罵倒**せし杯は初めて耳にしたる事なり、さても日本の裁判所も**進步**したるものなるかな、今左に檢事の論告に就きて聊か愚見を述べん

本事件立會檢事は渡邊某氏にして**頭腦明敏**なる良司法官と聞く先つ最初に論じて本件は强盜が刑事巡査を殺したと云ふまでにて、**新聞紙**や世人が**騷ぐ程**の大事件に非らすと云へり、之れが抑も本件を檢事が**輕々視**したる**根元**である**日露戰爭**で**十幾萬の生靈**を**殺**したるに比すれば月さんとスッポン程の相違あれど**平和**の**御代**に人民の生命財産を擁護する警察官が射ち殺されたりと云へば決して**小事件**に**非**ず而かも罪を犯かれん爲めに人を殺したる者は其罪死に價する事は法文の定むる處である、然るに檢事は騷ぐべき事件に非ずと鼻で遇ふ位ひだから元より委敷き取調べの出來得べしとは思はれず、と疑へば疑はるゝのである、檢事の論告に依れば警察官が**飽迄亂暴**なる行爲を敢て爲たる模樣なるが、是は實に由々敷**大問題**である斯の如き**蠻風**は時々**東京邊**の警察でも行はれるので現に其れが爲め所分された警官も澤山ある、併しながら今回の檢事は**被告**の**言**を**非常**に**信**じた形跡がある一例を擧ぐれば奧谷が獄中で吟詠したる俳句に『時節來てとける谷の雪』とあるを酒本警部等が解釋を誤まつたので實は被告が冤罪を蒙り居るを詠んだのであると云つて居る杯は記者をして言はしむれば寧ろ**滑稽**なる**判斷**と信ず。兎に角十ヶ月に渡る刑事殺し事件も警察で被告の自白せしは**强問**の**苦**しさに爲したるもので豫審判事の決定も何も彼も**無根**の**事實**として**氷解**せり、檢事が斯く論定した以上は何んとも手の出し樣がない然らば**眞**の犯罪人は何處にある、殆ど一年振りの今日新に搜査を**遣り返**へさねばならぬ譯だ、警察官の職務は僅かに司法機關の一部を檢事の**指揮**に依つて執るのみで本件は內部行政の一部である、然らば**管轄檢事**は眞の犯人を搜査せねばなるまい、それとも餘り大事件でないからと云つて此儘**放任**するか、其れでは**山本刑事**の**幽靈**が夜な〳〵**西小門邊**に**現**はれて**祟**りをするであらふ、敵は曖い事である一体朝鮮の監獄抔は結構なものだ被告は各々**獨房**に居りながら自由に話しが出來ると見へる、津城は現に三浦周吉は裁判官の前で、刑事側より賞與金とかを貰ふの約束ありと聞きたりと云ひ、其外噂を聞くと獄內で自由に意志を通じ居るのみか時々**書面**まで**往復**したろうだ、何んと**結構**な**監獄樣**ではないか。大体誰れが此の**監督**をして居るのだ。記者は本件に就き種々なる事も聞き込み又大なる意見もあれど今は犯罪檢擧の進行を妨げざらんことを慮れ暫く口を噤み他日を俟たんのみ

脫營兵士の就縛

▲下關要塞砲兵上等兵

去る十七日の終列車にて仁川驛に着し稻田旅館に投宿せし怪しき男あり宿帳には長崎縣生れの吉田一次(二三)と記入し其夜直に大坂商船會社に對し大連に向け米千俵を輸送したければとて船繰を問合せなどする模樣の如何にも不審しき節あるにぞ仁川署刑事は其行動を監視し居るとも知らず本人は同夜腕車に乘りて敷島遊廓內に至り先づ日進樓より朝日樓を經て一山支店に登樓し長吉を敵娼と定めてさんざめく大散財に不景氣風を忘れ午前二時半とも覺しき頃ひ部屋に入り紅閨の夢圓かならんとする時罪な刑事は遠慮容赦もあらばこそ御用とばかりに呼ばはりて身元を取調べしに東京日本橋區二丁目の今村重三郎と名稱り澄まし込みたるが日本橋區には只の二丁目はなきより愈々此奴僞名せるに相違なしと一先づ仁川署に引致して嚴しく取調べたる處遂には包み切れず實は釜山に於て藤原受負師方に奉公中主家の金子五十圓を拐帶して逃走し來りし旨自白せしが尙ほ怪しき點あるにぞ引續き翌十八日取調べを爲す際刑事は確かりせぬか……と大喝したるに怨ち容を改め兩手を腿に附けたる動作は何處から見ても軍人ならでは出來ぬ業と其處は流石に職掌柄眼を着けて貴樣は軍人ならんと引掛くれば此方の男の身体はビリ〳〵と恰も電氣に感染したるが如く斯くの上は包み隱さず總てを白狀せんと徐ろに語る處に依れば彼れは本名を德永敬市(二三)と云ひ佐賀生れの者にして昨年下關要塞砲兵に入隊し生家の暮し可なりにある處より月々少からざる金子を送り貰ひては之れを以て豐前田遊廓朝日樓の抱娼妓梅之助とかの許に繁々と通ふ內本年三月二日後朝の別れを惜しみて遂ひ歸營時間に遲れしかば儘よと自暴自棄を起し其まゝ帽子や劍等は其處らあたりに捨てゝ脫走を企て若松へ至り人夫の群に伍して立働きつゝありしが或夜熟々思ふ樣曾ては上等兵の候補生として撰拔され居たりし吾れは一女郎の色香に迷ひて世にも恐ろしき脫營の罪を犯し端なき人夫稼業をするとは情なき我身の運命かなと思ふに附けても前非を悔ひ短刀にて切腹し自殺を企てんとせしもさる人に止められて釜山に航し前記の犯罪を犯して仁川に逃走し來りたる旨自白せしにより仁川署に於ては不日下關要塞に右本人を護送する筈なり

●**婆さと青年の道行** 仁川寺町一丁目の發庭一次(二三)と云ふが金八十圓を拐帶して逃亡せし由は既報せしが同人は去る十九日日進樓の仲居たキク(五〇)と大連に高飛せんとて別府溫泉に手筈を定め居る所を取押へ兄の庄市に引渡さる

●**橫領犯人の逮捕** 大分縣平民無職梶原善太(四六)といふ不正漢は當地南山町田中國太郎より橫領罪として南部署に告訴せられたるを一昨日同人が櫻井町の溫突內に潛伏せるを長野刑事の爲めに檢擧せられ目下田部警部殿重に訊問中なりと

●**金を拾つた屆** 明治町佐藤某は昨日午前本町一丁目裏通三巴酒店前に於て五圓紙幣一枚在中の黑革財布を▲旭町二丁目百十二番戶大山某方同居柴田しつよ(三二)は一昨日午後本町三丁目に於て一圓紙幣一枚を拾得して何れも南部署に保管しあり心當りの者は至急申出づべしと

●**壽座の替り** 一昨二十日開演した壽座の新派劇伊東文夫一座は年末に押詰りたるにも拘らず非常の好人氣なるが今晚の替り演題は『妻の自白』と決定したりと

●**芙蓉女郎の廢業** つひ十日程前新町遊廓第一樓支店に顯はれし橫濱生れの太田きゑ(二〇)と芙蓉女郎は昨日前借金大枚四百圓を耳を揃ゑて返濟して母の急病の爲め鄕里に出發せりとなん

●**一昨夜の新町** 新町遊廓の嫖客は七十五人にて散財高四百七圓七十一錢

各地の新聞

▲**取引の停止人名** 大阪手形交換所にて取引停止を發表せられたるは約手九百十五圓西區西道頓堀通三高木米藏支拂先虎屋小切手二百三十七圓南區北炭屋町辻與次郞、支拂先三井支店爲替手形二萬圓日本製布株式會社專務取締役京都府朱雀野村藤村岩次郞

▲**新山炭坑の浸水** 十八日午後熊本縣知事發內務省着電に據れば天草郡新山炭坑內浸水被害坑夫は皆救助す●●●●●●●

▲**九州支線の開通** 豐州本線柳浦宇佐間は二十日より運轉營業を開始

▲**法主牛を持剩す** 大谷派法主光演師十八日能登地方より福井に赴く沿道非常の人出なり能登國の一信者牛一頭を法主に寄贈したれば聊か閉口の体なりき

▲**力士大砲の東上** 大阪力士三段目の有望者大砲は豫て東京組に加はるべき希望ありし由にて遂に十七日の夜出京して某年寄の許へ賴りしが某年寄は目下地方巡業中なれば師弟の契約を結ぶに至らざれども多分來春は登場すべしと

動題模様 （新年の雪）半ゑり ふくさ

歳暮御進物用適當品荷着

明治町一丁目 ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所

●求職 昨今渡韓の丙年輪九歳事務員又は商家に雇れたし氏名在社（四九〇）

●望勤務 病院又は醫院薬局へ ケーヂー生（四九三）

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と附屬二階六疊二間貸家井戸物置湯取付家賃面談 氏名在社（四七八）

●貸家 北部齋洞廿九の四貸家あり宮内府其他韓國側各官衙には便益の地希望に應じ貸渡上候

●貸家 京城吉野町間敷四間湯殿付官吏又は會社員向希望者は電七四番へ

●電話讓渡たし 氏名在社（四九六）

廣告

電話開通 五三九番 龍山榮町 建具指物類硝子板販賣 渡邊商店

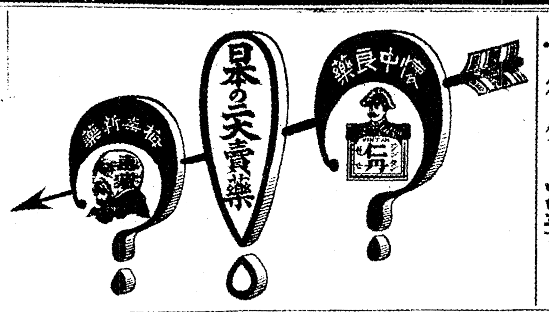
電話開通 五四六番 龍山元町三丁目 鶏鴨其他鳥類販賣 津村漁獵團

●滋養と牛乳●

純良 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番

馬車配達

●衛生と消毒●



代理店

京城南大門通三丁目 新井藥房本店 電話（九百四十八番）（千六十八番）

京城本町三丁目 新井藥房分店 電話（四七八番）

新形流行 御羽織紐 金鎖 帶〆

弊店の製造品は説明を要せず自ら能く之を語る

御注文の節は遞送無料にて御送致申候

東京淺草公園馬道一の廿八 三角堂栗原組糸店

景品附歳暮大放賣



京城本町二丁目 富田靴店 （電話九一九番）

十二月十五日より卅一日迄

石川高等法院判事閣下校閲 今村内部警務局警視閣下校閲 日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎携帯便利

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢

右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を協約、官制、官規、官等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規と爲し聊か受驗に酬ゆるの餘白を存し隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し可致候間を志にて就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城 日韓印刷株式會社出版部

移轉廣告

謹啓各位愈御清適奉賀候陳は弊店儀從來壽町三丁目にて營業罷在候處今般左記の處に移轉致候條何卒倍舊御引立奉願上候 敬具

京城本町六丁目 諸紙商 播本商店 電話一一〇番

原料直輸入廉價調製各種木形新着

弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選しスタイルは嶄新の粹を集め常に諸彥の御滿足を得置候御試用被下度候

◎京龍開は御一報次第店員を派し地方は御一報次第見本帳御送附可仕候

深ゴム靴 特價 六圓五十錢

アミ上靴

淺ゴム靴 五圓五十錢

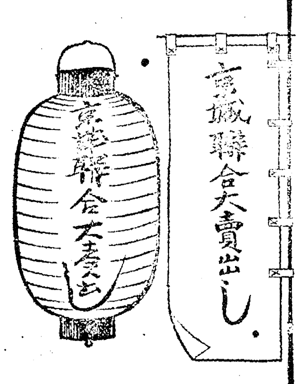


東京 北村支店 京城本町一丁目（郵便局前） 店主 磯部廣吉謹

京城聯合大賣出し

歳末に際し顧客各位の盛運を祈り且平素の眷顧に酬ゆると共に市況の繁榮を圖らんが爲十二月一日より同三十一日迄左記の方法に依り全市聯合大賣出しを開催致候間左記の目標を揭げある加入各店にて御買入被成下度此段奉願上候

加入店目標



景品

一等 金三千圓（債券）

二等 金一千圓（同）

三等 金五百圓（同）

四等 金二百圓（同）

五等 金一百圓（同）

六等 金五百圓（各店商品切手五拾本）

七等 金二千五百圓（各店商品切手貳千五百本）

以下空籤なし

御買上金五十錢毎に景品券一葉進呈仕候

賣出期間 明治四十二年十二月一日より同三十一日まで

抽籤期日 同四十三年一月七日 京城日本人商業會議所に於て各新聞社及公衆立會の上

景品引替期日 同一月八日より同三十一日迄

京城聯合繁榮會 （京城日本人商業會議所内）

明治廿七年七月創立● 資本金一千萬圓●

東京火災 海上運送 保險株式會社

京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

大上商店

京城本町五丁目 （電話二五一番）

和洋酒、Ⓜ精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物、食料雜貨、ビール、米糀、鹽辛、日本食鹽、荒物特約販賣候何卒御望に依り商品切手調進仕候各種

●電話開通 八百三十五番●

唐津石炭直輸入商 並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り 近藤商店

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目 原金旅館 （電話一一五番）

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗

京城明治町二丁目（佛國教會前） 電話三五四番

たやすくうります

綿わた綿ワタ

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

御問屋 唐川商店

京城明治町一丁目四ツ角 電話二六一番

蒸氣 牛乳 消毒

京城大和町一丁目 平山牧場 電話一二三



擴張廣告

今般拙者有名なるソンタクホテルの跡を引き受け改良に改良を加へ精々勉強仕候宴會其他の準備も整へ居り料理も御望に依りては至極廉價を以て調進可仕候何卒御遊旁々御高來の程切に奉願上候

京城貞洞 ソンタクホテル 主人 ジ、ボエル 電話七三九

◎牛乳 純良 消毒 檢查濟

韓國畜産株式會社 南大門外（電話八八番）

入院隨意

京城壽町三丁目（電話三七八番）

中島醫院 院主醫學得業士 中島貞信



日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 十二月十九日後三時出

●大連、太沽行 高砂丸 十二月廿一日正午時出

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三日午前六時出

◎大連行 酒田丸 一月三日正午時出

◎釜山出帆 元山、清津、浦鹽行 神丸 十二月廿九日午後時出立

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事